一般社団法人　洛陽労働法務･キャリア支援機構

季刊　らくよう会報

初秋第3号　平成28年9月

京都　清水寺　中川優子撮影

暑さもお彼岸まで

暑さ寒さも彼岸まで。夏の残暑もそろそろ和らいで過ごしやすい、初秋のこの頃ですが、会員の皆様におかれましては、如何お過ごしのことでしょうか。

当会では現在、情報発信の頻度と利便性の向上を目指し、社団法人化以来の拠点としていました池袋事務所を、より都心の神保町に移設準備中です。また、関西の拠点となる京都事務所の新設についてもプロジェクトを推進しております。

１０月２日には、京都で、関西地区初めての催事も企画し、東京同様に信頼感のある幅広い交流の実現を目指しております。皆様のご期待に応えるべく、運営に努力して参ります。引き続き、ご支援の程、宜しくお願い申し上げます。

理事長　中川直毅

京都　西園寺から見る霊峰大比叡～西園寺は清華家「西園寺家」の菩提寺

関西支部特別催事のご案内

「桶谷先生が語る！ 知って安心、誰も教えてくれなかった公的年金のツボ」

『各種統計資料から紐解く公的年金必須知識』
～より良い老後を迎えるために、押さえておきたい年金知識いろいろ～

講演会＆パーティー開催詳細

開催日：2016年10月2日（日）
場所：アランヴェールホテル京都
（京都市下京区五条通東錺屋町179）
http://www.aranvert.co.jp
地下鉄烏丸線「五条」駅下車2番出口直進徒歩2分
【受付】　11：00～11：20 《3F五条の間》
【御挨拶】11：20～11：40
【講演】　11：40～13：00
【ﾊﾟｰﾃｨｰ】13：00～15：00 《2F貴船の間》
【会費】当会員7,000円 一般8,000円

主催：一般社団法人洛陽労働法務キャリア支援機構
東京都豊島区東池袋1-20-2池袋ﾎﾜｲﾄﾊｳｽﾋﾞﾙ808
電話03-6907-1145
窓口：関西支部 宇多（ｳﾀﾞ）電話090-9375-0423

講師紹介
桶谷 浩 氏
（おけたにひろし）
特定社会保険労務士
ファイナンシャルプランナー
（CFP・1級FP技能士）
島根県出身
熊本大学法学部卒業
生命保険会社に7年勤務後、
平成13年
社会保険労務士・FP事務所
「おふぃすOK」開業
専門分野：
年金及び老後の生活設計
業務内容：
金融機関での年金相談
年金関係の記事執筆
保険会社ﾁﾗｼ・ﾊﾟﾝﾌﾚｯﾄ作成監修
年金セミナー講師
老後設計セミナー講師他
モットー：
「仕事に年齢関係なし」

会場となる「アランヴェールホテル京都」の玄関

「京都への想い」

㈳洛陽労働法務・キャリア支援機構
理事・関西支部長　宇多　敏彦

当社団法人の名称に使用されている「洛陽」とは、京都を意味する言葉です。

私は、大学時代（※）京都に通っていましたが、山紫水明、寺社仏閣のたくさんあるこの地で、特に京都御所については、体育の授業や自転車部の練習に使用していたこともあり、思い出深い場所です。

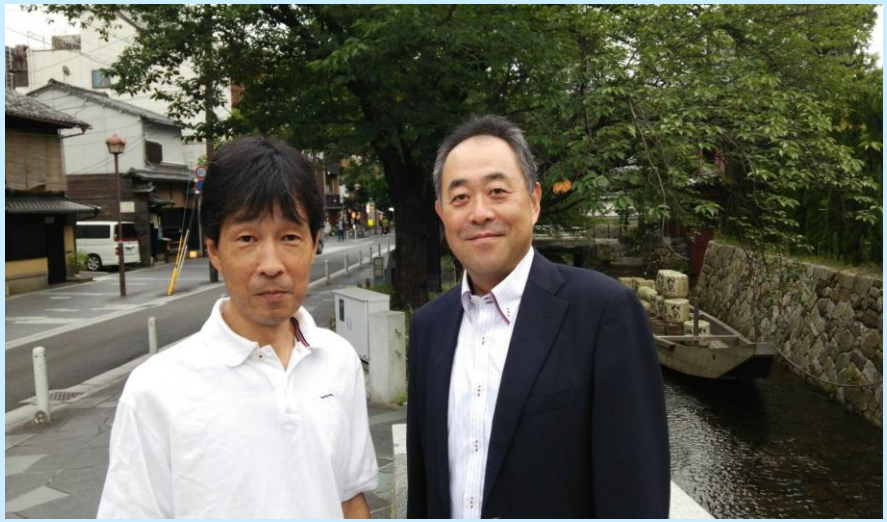
当時は、蛤御門の幕末時の弾の跡には感心しても、他には全く関心がなく、摂関家の九条家や閑院宮家の邸宅跡などは存在すら知りませんでした。いかに教養のない生活を送ってきたかと思うと恥ずかしい限りです。

社会人になり、歴史に興味を覚え、大河ドラマの八重の桜を見て、山本覚馬と西郷隆盛の出会いが無かったら、或いは槇村正直が京都府知事でなかったら、母校が京都には存在しえなかったと思う時、人との出会いの偶然性が人生を作り、歴史を作っていくのだとの思いを抱くようになりました。

京都は体制が変わる度に様々な変化を遂げ、時には伝統を守り、現代に至ります。当法人を通じて、京都に思いを馳せ、京都をもっと知りたいと思う今日この頃です。

※（編者注）宇多さんは、同志社大学法学部をご卒業されています。

N氏お友達～会員電撃紹介



写真左・・・棚橋さん
京都府出身、大阪府枚方市在住、京都産業大学外国語学部 ロシア語学科卒。社団法人関西副支部長。製茶会社の営業部長で、京銘茶の専門家。創設者とは高校以来40年の付き合い。

写真右・・・芝田さん
大阪市出身、大阪市旭区在住。京都産業大学法学部卒。社団法人関西副支部長。
旅行会社の（株）ツーリストジャパンを共同創業し、現在パートナー経営者。もちろん、国家資格の総合旅行業務取扱管理者。勤め人時代には十数年間労働組合を率いた経歴もある。

このコーナーは、会員・賛助会員の皆さんと、創設者との交友関係を紹介しながら、ご経歴、お人柄を紹介いたします。したがいまして、編集人からの無手勝流の電撃紹介が特長です。

人事労務・経営法務の窓

１０月は全国労働衛生週間

１０月１日からスタートします。労働衛生面の管理不備から労災事故につながることが多々あります。改めて職場の作業環境や健康管理の見直しをしてみましょう。また、労働安全衛生法の改正で新設された、ストレスチェックも１１月３０日までに、第１回目を実施しなければなりません。

法律の鉄腕アトムとコバルト兄さん

平成２８年施行の障害者差別解消法は、「障害を理由とする差別を解消する措置」を定めた法律で、この分野の一般法です。雇用の場において障害者差別の解消を目的とし、昭和３５年に制定されて以来、何度か改正された障害者雇用促進法は、その特別法ということになります。

一般法が先にあって特別法が後からできるイメージがありますが、このように時間的に逆の場合もあるのです。解消法の合理的配慮提供義務は、努力義務ですが、促進法はこれを強制的な義務としているため、雇用の場においてはＭＵＳＴ対応となります。

※鉄腕アトムのコバルト兄さんは、アトムにお兄さんがいないので、寂しいだろうと考えた、お茶ノ水博士が後から作りました。出来は今一ですが優しい御仁です。

企業法務の知識～議題と議案

株主総会の「目的である事項」は『議題』であり、その具体的な提案決議案が『議案』となります。取締役選任を例にしますと、議題とは「取締役１名選任の件」のことであり、議案とは「中山太郎を取締役に選任する」という提案のことです。会社法も303条で議題提案権を、304条で議案提案権をそれぞれ別々に定めています。

取締役会では、それらの区別は明確にされていませんが、取締役会の招集通知に記載される「取締役会の目的である事項（目的事項）」が議題に相当し、その議題についての具体的な提案が議案に相当します。（法366条、367条）

また、株主総会の動議とは、総会当日の審議において議案に対する修正案の提案や、休憩、議長交代を求めるなど、議事進行上の提案を行うことです。会社法で、原則として、次のようなルールとなっています。

(1)議案提案権は、要件(総株主議決権10分の１以上、否決後3年経過など)を満たす株主に限り認められている。(法304条)

(2)議案については、招集通知に記載されていない議案以外の提案はできない。(法309条)

なお、取締役会の動議については会社法の明文上の規定はありません。

写真コーナー

チャリティー食事会、講習会、交流会の活動

宇多支部長（左端）を中心に10月2日の関西支部パーティの準備委員

7月30日のチャリティー納涼会　@青山学院　IVYホール

7月25日の関西支部役員と京都TRAD社労士事務所との交流会

8月28日の「リーダーシップとマネジメント論」の講習会　@東京中野にて

次回、第5回京都歴史探訪会は、10月1日（土曜日）です。

因みに、第6回は2017年3月11日（土）～12日（日）です。

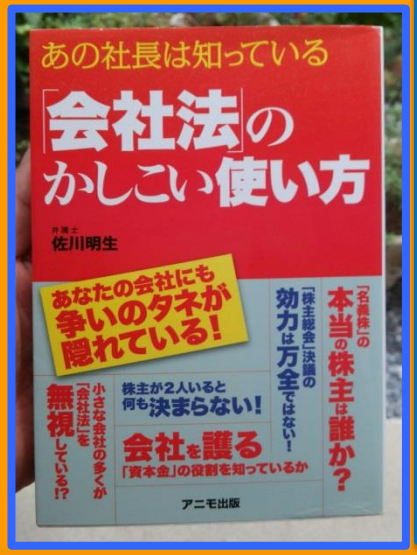
紫式部のお墓・・・なかなか発見できない

京都　出町柳の三角州～賀茂川と高野川が合流し鴨川となります

7月16日　祇園祭宵山の函谷鉾（かんこぼこ）

京都歴史探訪会の毎回の集合場所、四条烏丸交差点南東角

本棚



講習会等の予定

■2016年10月2日（日）11：20～15：00　受付開始11：00～
「関西支部記念講演会＆交流パーティ」
＠アランヴェールホテル京都
「桶谷先生が語る！　知って安心、誰も教えてくれなかった公的年金のツボ」
講師：桶谷　浩先生　（特定社会保険労務士、おふぃすOK事務所代表）
参加費　正会員・賛助会員・サポート会員7000円　非会員8000円

◆2016年12月3日（土）13：30～16：00
「メンタリティマネジメント～社員のストレスをモチベーションに変化させる」
＠日清紡NLUホール中野　セミナールーム
講師：江口　毅先生　（社団法人理事、精神保健福祉士、産業能率大学講師）

■2016年12月9日（金）19：00～21：00　受付開始18：40～
「年忘れ！！ビジネス交流会　」
＠青学アイビーホール　レストラン「フィリア」　表参道駅徒歩5分　青山学院大学横
参加費　正会員・賛助会員・サポート会員6000円　非会員6500円

「会社法」のかしこい使い方
佐川明生（弁護士）　アニモ出版1600円

企業の総務担当者や時間のない経営者の方にお薦め。会社法の実務をすっきりした事例でわかりやすく解説しています。会社法の基礎知識がなくても、「必須知識」「ポイント」などと濃淡のある解説のおかげで読めていけそうです。よって教養的な読書の対象としてもよいと思います。

京都の一澤帆布工業事件を題材にした法人格否認の法理、アートネイチャーの株主代表訴訟に絡む取締役の責任追及の項目が、とくに面白いです。

2012年9月、社団法人準備の最初の会合

社団法人化へ最初の打ち合わせ会です。左から、鈴木委員、本間社労士、相澤理事、田畑社労士、大川弁理士、残間常勤監事（診断士）、岡本副理事長の皆さん

編集後記

会報第３号をお届けします。

実は、８月に盛夏号を発刊すべく準備を進めていて、ほぼ完成していたのですが、理由なく魔がさして、発刊には至らず幻の盛夏号となってしまいました。

リベンジした、本号は、基調カラーを「京の秋空・東山・鴨川」をイメージして、１０月開催の京都イベントを意識した内容でお届けします。

発行人～
一般社団法人　洛陽労働法務・キャリア支援機構
会報編集人　中川直毅